# 図書館だより

## 11・12月号

令和5年11月17日
港区立青山中学校
校 長　中田 和直
学校司書　三島 裕美
図書館支援員　武田 優子
塩野谷 恭輔

毎年 10 月 27 日（金）～11 月9日（木）は読書週間です。読書週間とは、日本図書館協会が制定した読書を推進する行事が集中して行われる期間です。2023 年の標語は、「私のペースで しおりは進む」です。

青山中学校図書館では 11 月 20 日から 12 月 19 日まで図書館イベントを開催します。詳しくは裏面を見てください。

【11月の展示】

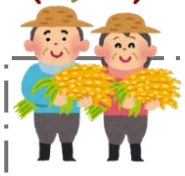
『進路・仕事』に関する本の展示をしています。

【新着本展示】

ぞくぞくと新しい本が到着！館内に展示してあります。ぜひ見に来てください。

【秋の図書館イベント】

本を借りてギネス記録に挑戦しよう！詳しくは裏面をみてください。



## 勤労感謝の日（11月23日）

**11 月 23 日の勤労感謝の日は 1948 年に設けられた祝日です。以前は、天皇が神様にその年とれたお米をそなえ、自らお米を食べる新嘗祭（にいなめさい）の日として認知されていました。日本各地でも米の収穫（しゅうかく）を祝う秋祭りがあります。**

**『二十四節気のえほん』西田めい/文**

**羽尻利門（はじりとしかど）/絵　PHP 研究所　より**

## 名作まちがいさがし

「まだらの紐（ひも）」

コナン・ドイル

ホームズは、密室で亡くなったヘレンの姉の部屋を調べました。ベットの脇に呼び鈴のロープがぶら下がっていたので引いてみると、音が鳴りません。ロープはただの飾りで、小さな通風孔の上のフックに結びつけられていました。

下の２枚の絵の違いを５か所見つけてください。

### 作品の概要・解説

ある朝、ホームズの探偵事務所にヘレンと名のる依頼人が訪れました。彼女は、義父のロイロット博士と双子の姉と暮らしていましたが、二年前、結婚を控えた姉が「まだらの紐」という言葉を言い残し、自室で謎の死をとげていました。ヘレンは結婚を目前にして、屋敷の急な改装工事で亡き姉の部屋に移ることになり、心配になってホームズの元を訪れたのでした。

ヘレンの身の危険を感じたホームズは、助手のワトソン医師と共に彼女の屋敷へ。はたして「まだらの紐」とは何か。事件の恐るべき真相は!?

シャーロック・ホームズは、イギリスの作家コナン・ドイル（一八五九～一九三〇年）が創作した世界一有名な私立探偵です。天才的頭脳を持つ探偵と事件の記述者で凡人型の助手のコンビは、推理小説の世界に大きな影響を与えました。

本作のほかに、デビュー作の「緋色の研究」などの長編四作、奇妙な暗号を解き明かす「踊る人形」などの短編五六作があります。ドイルは、本作を自身が選ぶ短編の一位に挙げています。

※「まだらの紐」は KADOKAWA、新潮社、東京創元社などの『シャーロック・ホームズの冒険』に収録されています。

『ギネス世界記録2023』
クレイグ・グレンディ編
KADOKAWA

**11月20日(月)～12月19日(木) 昼休み**

**後期図書委員会企画★本を借りてギネス世界記録に挑戦しよう！**

# 挑戦者　求ム！

★参加方法：本を一冊かりると1回チャレンジできます。
★挑戦内容：30秒間で紙コップをどれだけ高く積むことができるかを競います。
★積み方：おすすめは2つありますが基本的に自由です。
★注意：紙コップは丁寧に扱ってください
**青山中学校のナンバーワンを決めます。皆さん本を借りてぜひ参加してください！**

**開館時間**　＊変更しています！
火・水・金 AM 11：15～PM 4：45　／　月・木　AM 10：15～PM 4：45

## 港区書評合戦・観戦者募集！

11 月26日(日)に、三田図書館 6 階集会室にて「中高生書評合戦2023」が開催されます。青山中学校からはビブリオバトルに生徒が出場する予定です。時間は午後3時から5時まで。興味のある方はぜひ見に行ってみてください。

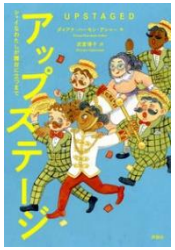
## おすすめの本「チャレンジ」

### 『アンドロイドは電気羊の夢を見るか？』

フィリップ・K・ディック/著　浅倉久志/訳（早川書房）

物語の舞台は、核戦争後の地球。賞金稼ぎリックはその賞金で生きた本物の動物を手に入れるために、アンドロイドの逃亡者8体を“処分”するという依頼を受けますが、その過程で、生命とは何か？人間とは何か？　という問いに、否応なく向き合うことになります。他のディック作品同様、結末がはっきり示されないからこそ、物語を通じて読者に同じ問いを考えさせ続ける作品になっています。

### 『アップステージ　シャイなわたしが舞台に立つまで』




**ダイアナ・ハーモン・アシャー/著　武富博子/訳**
（評論社）

はずかしがりやな中学生の女の子シーラがミュージカルの舞台に立つまでのお話です。先生、ライバル、親友と濃密な時間を過ごしながら、果たしてシーラのチャレンジはどうなる？！“アップステージ”には「舞台で主役を食う」という意味があります。

### 『ぼくが宇宙人をさがす理由』

鳴沢真也/著（旬報社）

ひきこもりだった著者が宇宙へのあこがれを忘れられず、数々の問題を乗り越え宇宙に関する仕事にたどり着きます。そして最大の関心、宇宙人はいるのか？という謎に挑みます。彼は何故この謎に挑み続けるのか、そして宇宙人はいるのか？一緒に考えてみてください。